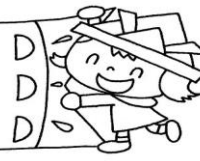


5月園だより



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和2年5月7日

青空の下、こいのぼりが悠々とおよぎ、若葉の清々しい季節となりました。

長いお休みがあけて戻って来る子どもたちを、職員一同待ちわびていました。

園舎内を清掃し、遊びの環境を整え、出来る限りのことを行い待っていました。

園が再開したら、子どもたちの活気に満ちた声が聞かれると思うと、泣き声さえも待ち遠しい気持ちでいました。この休み期間中、普通の日常が一番であることを感じられた保護者の皆様もおられたことと思います。私もその一人です。この2週間半を一人ひとりが不要不急の外出を控えたおかげで、ようやく新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかっていますが、まだまだ油断はできません。これからもうがい、手洗い、マスクの着用を徹底し、感染予防に努めて行きましょう。

さて、子どもが生まれると日本の行事に触れる機会が多くなったような気がしませんか。お七夜、お食い初め、お節句、七五三などこれまでとは違う行事に触れ、家族の笑顔を見ていると幸せだなあと感じることに思います。でも、どうして子どもができると行事が気になってくるのでしょうか。それは、日本の行事は家族の幸せを願う気持ちを形にしたものだからなのです。行事の多くはもともと宮中行事や農耕行事として始まりましたが、どれもこれも幸せを願って行なわれるようになったものばかりです。日本には、見えない思いを物事にたくすおくゆかしい文化があり、行事に反映されています。行事を楽しみながら幸せの階段を上ってほしいものです。

今年度の教育方針の一つに、「こどもたちに多様な体験をさせ感性を育てる～日本の良き伝統を伝える～」がありますので、毎月園だよりにて、日本古来の行事について、保護者の皆様にお伝えして参りたいと思っています。

5月は「八十八夜」「こどもの日」「憲法記念日」「母の日」「みどりの日」など色々な行事がありますが、今回は「端午の節句」の由来についてご紹介します。「端午の節句」は、古代中国の菖蒲を使った邪気払い行事が起源です。この行事が奈良時代に伝来すると、日本古来の早乙女の神事と結びついて広がりしました。やがて武家社会菖蒲が「尚武」や「勝負」に通じることから、男児の成長を願う行事に変化し、江戸時代に五節句の一つになると鯉のぼりや鎧兜を飾るようになりました。

その後、昭和23年に男女の区別なく子どもの幸せを願う「こどもの日」になりました。端午の節句には、薬草効果のある菖蒲湯に入り、「菖蒲の葉で鉢巻をすると、賢くて強い子になるよ！」などと、親子の会話をしてみるのも素敵でしょう。また、柏餅に使われる柏の葉は、新しい葉が出るまで古い葉が落ちないため縁起が良いとされ、健やかな成長と子孫繁栄の願いを込めて端午の節句に柏餅を食べるようになったと言われています。ご家庭でも柏餅を手作りしてみるのも良いですね。色々な風習をご家庭でも取り入れてはいかがでしょう。小さい頃から文化に親しんだこと、愛された思い出は、子どもにとってかけがえのない宝物になることでしょう。



日	曜日	行 事 内 容	
1	金		
2	土		
3	日	憲法記念日	
4	(月)	みどりの日	
5	(火)	こどもの日	
6	(水)	振替休日	
7	木		
8	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら)	おたより帳預かり
9	土		
10	(日)		
11	月	個人面談(ばら)	
12	火	英語教室(ばら・すみれ・さくら)	
13	水	役員会(10:30~)	
14	木	避難訓練	習字教室(さくら)
15	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら)	
16	土		
17	(日)		
18	月	個人面談(ちゅうりっぷ・たんぽぽ・もも)	身体測定(ちゅうりっぷ・たんぽぽ)
19	火	英語教室(ばら・すみれ・さくら)	身体測定(もも)
20	水	尿・ぎょう虫卵検査回収日	身体測定(ばら)
21	木	習字教室(さくら)	身体測定(すみれ)
22	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら)	身体測定(さくら)
23	土		
24	(日)		
25	月		
26	火	英語教室(ばら・すみれ・さくら)	
27	水		
28	木	お誕生会	
29	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら)	おたより帳預かり
30	土		
31	(日)		